

事業概要	地域未来創造拠点として、当社は、 1. 産業インフラの構築(電力小売取次事業部) 2. コミュニティの創造(地域未来創造事業部) の2軸を行っています。
部署	どちらかといえば、地域未来創造事業部
所在地	〒402-0035 山梨県都留市夏狩1887番地
連絡先	(E-mail) contact@tsuru-e.com
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>つるエネルギーは単なる電力小売事業者ではありません。私たちは、地域未来を明るくする電力会社として山梨県都留市に拠点を置き、つる・郡内エリアを中心とした事業エリアを設定しています。なぜなら、私たちは「会える距離(地域)」でビジネスを営むことを大事にしているからです。</p> <p>生産と消費の現場が離れることで、私たちはそこに紐づく関係性を忘れてしまったように感じます。そうした課題意識から、当社は地域の皆様に電力業界・カーボンニュートラル・脱炭素の課題と展望、情報を丁寧に説明することで、地域内外の情報とエネルギーを中継する拠点として活動してきました。</p> <p>地域内でできること、地域外でできることをそれぞれ上手く活用しながら、“地域未来を明るくする”を信念に、これからのエネルギー社会を生み出していきたいと考えます。そのために、今回の環境省ローカルSDGsのネットワークを活用しながら、情報共有やネットワークづくり、意見交換をさせていただきたいと考えています。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	<table border="1"><tr><td data-bbox="416 181 520 225">分野</td><td data-bbox="530 181 1968 225">脱炭素／サーキュラーエコノミー／防災</td></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="416 232 1968 832"><p>(脱炭素・サーキュラーエコノミー・コミュニティの創造)</p><p>当社の地域未来創造事業部では、地域スーパーと、地元大学生とのプロジェクトコーディネートを行った実績があります。</p><p>具体的には、当社スタッフが場を設定し、地元スーパーの新装開店のタイミングに合わせ、学生が考えた節電・省エネ・脱炭素実現に向けたアイデアを提案するというプロジェクトです。地元の方々にアンケート調査を取り、冷蔵庫の蓋を設置することを提案し、手前取りの認知度を上げるといった節電・省エネをスーパーに働きかけるものとなりました。</p><p>本プロジェクトは、学生に対する環境教育という側面とともに、若者が「地域未来を変えられる」という実感を持つという意味で、“会える距離感(地域)”だからこそできる取り組みだと考えました。</p><p>(防災)</p><p>2022年は、電力需給逼迫警報等が発令されるなど、安定的な電力供給の難しい局面が発生しました。そうした事情に対して、当社と契約関係のある事業者や個人を中心に、停電の際の対応や、昨今話題になっているポータブル蓄電池がどのような場面では役に立つか、といった情報提供を常にしております。当社は、「知の拠点」としても、地域内外で誠実に対応していきます。</p></td></tr><tr><td data-bbox="416 846 520 891">URL</td><td data-bbox="530 846 1968 891">https://tsuru-e.com/regional/922/ 当社HP「しえあはぴ×おかじま都留店」プロジェクトについて」にリンクします</td></tr></table>	分野	脱炭素／サーキュラーエコノミー／防災	<p>(脱炭素・サーキュラーエコノミー・コミュニティの創造)</p> <p>当社の地域未来創造事業部では、地域スーパーと、地元大学生とのプロジェクトコーディネートを行った実績があります。</p> <p>具体的には、当社スタッフが場を設定し、地元スーパーの新装開店のタイミングに合わせ、学生が考えた節電・省エネ・脱炭素実現に向けたアイデアを提案するというプロジェクトです。地元の方々にアンケート調査を取り、冷蔵庫の蓋を設置することを提案し、手前取りの認知度を上げるといった節電・省エネをスーパーに働きかけるものとなりました。</p> <p>本プロジェクトは、学生に対する環境教育という側面とともに、若者が「地域未来を変えられる」という実感を持つという意味で、“会える距離感(地域)”だからこそできる取り組みだと考えました。</p> <p>(防災)</p> <p>2022年は、電力需給逼迫警報等が発令されるなど、安定的な電力供給の難しい局面が発生しました。そうした事情に対して、当社と契約関係のある事業者や個人を中心に、停電の際の対応や、昨今話題になっているポータブル蓄電池がどのような場面では役に立つか、といった情報提供を常にしております。当社は、「知の拠点」としても、地域内外で誠実に対応していきます。</p>		URL	https://tsuru-e.com/regional/922/ 当社HP「しえあはぴ×おかじま都留店」プロジェクトについて」にリンクします
分野	脱炭素／サーキュラーエコノミー／防災						
<p>(脱炭素・サーキュラーエコノミー・コミュニティの創造)</p> <p>当社の地域未来創造事業部では、地域スーパーと、地元大学生とのプロジェクトコーディネートを行った実績があります。</p> <p>具体的には、当社スタッフが場を設定し、地元スーパーの新装開店のタイミングに合わせ、学生が考えた節電・省エネ・脱炭素実現に向けたアイデアを提案するというプロジェクトです。地元の方々にアンケート調査を取り、冷蔵庫の蓋を設置することを提案し、手前取りの認知度を上げるといった節電・省エネをスーパーに働きかけるものとなりました。</p> <p>本プロジェクトは、学生に対する環境教育という側面とともに、若者が「地域未来を変えられる」という実感を持つという意味で、“会える距離感(地域)”だからこそできる取り組みだと考えました。</p> <p>(防災)</p> <p>2022年は、電力需給逼迫警報等が発令されるなど、安定的な電力供給の難しい局面が発生しました。そうした事情に対して、当社と契約関係のある事業者や個人を中心に、停電の際の対応や、昨今話題になっているポータブル蓄電池がどのような場面では役に立つか、といった情報提供を常にしております。当社は、「知の拠点」としても、地域内外で誠実に対応していきます。</p>							
URL	https://tsuru-e.com/regional/922/ 当社HP「しえあはぴ×おかじま都留店」プロジェクトについて」にリンクします						
上記ソリューションを提供できる地域について	つる・郡内を中心とした関東一帯						

自者の特徴

<地域との協業実績>

山梨さえき・セルバホールディングス様、都留文科大学学生有志とのプロジェクト組成

<他社との差別化>

山梨県都留市に拠点を置く当社は、地域という現場で実直に活動を続けてきた実績があります。このことを通して、地域だからこそ求められるものを提供できる感性と提案が可能だと考えます。



SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

- 広く伝わるというよりも、深く伝わるという意味での知名度の向上を求めています。
- 発電事業を今後伸ばしたいと考え、そのために融資・補助金を活用していきたい。